

11月11～13日

政友会（浜崎昭臣・平山泰司）、赤木武男、柴田 誠

長野県塩尻市 ICTを活用した鳥獣被害対策

視察報告

塩尻市は数年前からイノシシの食い荒らしによる農作物被害が深刻化し平成23年度からセンサーネットワークを活用したイノシシ被害対策に着手されたそうです。出沒センサーで鳥獣出沒の時間と場所が把握できるようになったことから、出沒場所に檻や罠を設置して捕獲し、捕獲するとメールが届く仕組みになっているそうです。そのほかに出現時の追い払いを行ったことにより、被害が減っている状況とのことでした。

視察を終えて

天草市でも鳥獣被害が年々多くなりイノシシの数も増えているので、塩尻市のセンサーネットワークを活用したイノシシ被害対策に習うように、まずは、地元住民、農家、区長、猟友会等と連携を図り、少しでも被害が減る対策が必要と考えさせられました。



岐阜県飛騨市 人口減少対策実行プラン

視察報告

飛騨市は平成52年(2040年)には現在の人口より40.5%減少すると推計され、生産年齢人口より65歳以上の人口が上回るとのことでした。そこで企画課内で考えるのではなく、他の課の職員とリーダーを決め対策会議をされたそうです。取り組みは新規で「飛騨市住宅新築・購入支援助成」、「Uターン奨励金事業(賃貸住宅家賃補助事業)」、「入園・入学祝い金制度(市内共通商品券)」、「病児保育事業」などをされるとの事でした。その中に拡充、改善の事業もあり、特に、出会い・地域活性化イベント事業には支援対象を広くし、特に「婚活」の事業に期待しているとの事でした。

視察を終えて

天草市でも少子高齢化が進む中、人口減少、晩婚化、出生数の低下などがあるが、補助金など費用を負担する事も大事だが、まずは、市民に人口減少の事を知っていただき、市民といっしょに、この問題に取り組まなければと考えさせられました。

11月10～12日

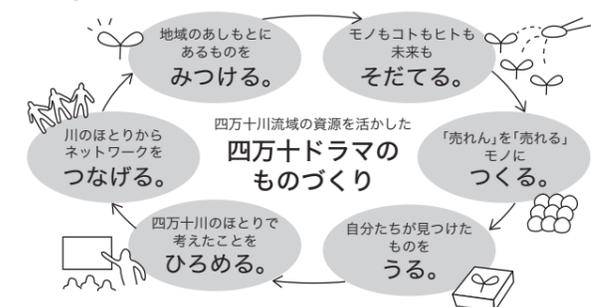
天政会（本田武志・脇島義純・池田裕之・中村三千人・勝木幸生・鶴戸継啓・西村尚武）

高知県四万十町 株式会社 四万十ドラマ

視察報告

1994年第3セクターでスタートし、1999年独立採算を実現。(株)四万十ドラマを設立された。「四万十川に負担をかけないものづくり」を心がけ、四万十川流域の天然素材を生かした商品開発・販売・道の駅の運営を手掛ける。「道の駅・四万十とおわ」に面する国道は、1日1,000台未満の交通量であるため、当初は経営が成り立たないと懸念され、9割の人が反対した。

しかし、蓋を開けてみれば、初日は、当初見込みの5倍の5,000人の来場者があり、その後も安心・安全な商品づくりと、生産者の顔が見えるイベント等続け、2007年度は入場者12万人、売上1億円と順調に推移し、開業2年半で入場者40万人を突破した。



視察を終えて

「道の駅・四万十とおわ」のように交通不便地域であっても客が集まる手法や、地域にあるものを生かした商品づくりについて学ぶことができた。また、地産地消も大事だが、地産外消・外商（付加価値を付けて外で高く売る）の必要性も再確認できた。

天草市でも「天草にしかないもの」「天草でしか買えないもの」という考えを持って、道の駅や物産館の活性化につなげていきたい。

愛媛県宇和島市 きさいやネット（市立宇和島病院）

視察報告

「きさいやネット」とは、患者さんの同意を得た上で、市立宇和島病院でのご本人の診療・治療の記録（電子カルテ）をかかりつけの先生の診察室などで、医師に直接見ていただけるシステム（メディカルネット）である。「きさいやネット」導入の大きな目的として、南予地域は、高速道路や鉄道などの交通インフラが未整備な地域も多く、通院に最大2時間を費やす場合もあることから、ネットワークシステムの導入により医療情報を共有化することで、当院に通院することなく、地元にいながらにしてより高度な医療を受けることが可能となるため、導入したとのことでありました。

視察を終えて

患者さんのメリットとしては、①かかりつけの医師が、他の病院での検査結果を閲覧できるので、患者さんの状態をより詳しくわかっていただくことができる。②投薬や検査の重複を防ぐことができ、医療費の削減になる。③他の病院での既往歴や過去に受けた検査結果をかかりつけの医師に詳しく説明できなくても安心して診療を受けることができる。

連携した医療機関のメリットとしては、インターネットによってリアルタイムに患者さんの電子カルテの詳細な情報を得ることができ、利便性が大幅に向上している。

このように、患者さんと医療機関の双方にとって利便性が大きいのであれば、天草市においても課題を検証しながら、利用拡大に向けて検討していきたい。



第23回熊本県市議会議員研修

1月8日、熊本ホテルキャッスルにおいて慶應義塾大学教授（元鳥取県知事・元総務大臣）の片山善博氏を講師に、「具体例で考える地方議会改革」と題し研修会が開催されました。地方議事を熟知されている片山氏の的確な指摘は、議会の役割について改めて認識する良い機会となりました。

①国会から地方議員を診る

国会では重要法案を審議する場合、必ず公聴会を開き意見を聞くことが義務付けられている。地方の議会も公聴会を取り入れるべきだ。

②自治体予算と議会

議会には予算に対する決定権と責任がある。予算の審議にもっと深く力を入れるべきだ。予算の編成時にホームページで公開し透明性を図り、市民からの意見を幅広く聞く機会を多く作る。必要な事業と不必要なものとは深く審議する。事業のマンネリ化を防ぐ。

③地方税制と議会

アメリカの場合自治体の税収の多くは固定資産税。毎年その税率を審議する。変動する予算(事業)に応じた税率の決定。事業の審議、予算、情報公開、意見聴取、等々段階的に進める。



④教育委員会改革と議会

新制度として市長が教育長を任命(責任体制を確立する為)。教育委員はその道の経営者(役員)であるべき。受け持つ地区の教育に深く関われる人、又その結果に責任をとれる人。教育委員の選任には議会として責任の持てる人選(調査を含む)をする。

⑤首長と議会の関係

重要事項の決定権が首長に集中しすぎ。議会の同意を得ることで首長が変わってもその決定事項は継続する。沖縄の埋め立て問題、原発の再稼働決定の判断など、首長だけの判断、決定権だけでは内容の継続性が保てない。

傍聴をお待ちしております!!

| 3月 | | | | | | | | | | 2月 | | | 月 |
|--------|--------|--------|--------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------|---------|---------|--------|-----------------|
| 18日(金) | 16日(水) | 15日(火) | 14日(月) | 11日(金) | 10日(木) | 8日(火) | 7日(月) | 4日(金) | 2日(水) | 29日(月) | 26日(金) | 22日(月) | 日 |
| 本会議 | 本会議 | 本会議 | 本会議 | 休会 | 休会 | 休会 | 休会 | 休会 | 休会 | 休会 | 本会議 | 本会議 | 会議 |
| 委員採決 | 委員報告・討 | 一般質問 | 一般質問 | 予算決算委員会(当初予算) | 予算決算委員会(当初予算) | 予算決算委員会(当初予算) | 予算決算委員会(当初予算) | 予算決算委員会(補正予算) | 総務政策委員会 | 建設経済委員会 | 市民生活委員会 | 質疑 | 開会、施政方針、提案理由の説明 |
| | | | | | | | | | | | | | 議事日程 |

平成28年第1回定例会
会期日程(案)